

平成25年度 千代川水防演習の特徴

○住民が参加する訓練

富桑地区：住民避難訓練

明德地区：住民避難訓練

大正地区：土のう作り、水防工法訓練

・住民避難訓練では、「防災・減災を考える会」での活動を通じ、地域防災マップ作成で得られた経験や鳥取大学（地域安全工学センター）の指導等を踏まえた避難手順に基づいて実施。

・土のう作りや水防工法訓練では、子供会も参加。

避難訓練



土のう作り

○鳥取大学地域安全工学センターとの協同

地域安全工学センターの先生による、解説のアナウンス

・水防演習の目的

・水防工法、住民避難訓練等の解説

展示テントでの河川、土砂災害等模型展示

展示テント



○対空表示の紹介

災害時に、ヘリコプターで市内を偵察するとき、鳥取市の地理に詳しくない者でも位置確認が容易にできるようにするための路面標示。

鳥取大橋、八千代橋、新千代橋
それぞれ東詰付近の堤防（河川管理道路）に試行的に設置

設置イメージ
（新千代橋）



○大学の参加

鳥取大学、鳥取環境大学の学生が演習に参加する。

・鳥取大学による演習アナウンス

・水防工法訓練、日本赤十字社の行うトリアージ訓練（負傷者役）の参加

アナウンス



トリアージ訓練



○「防災・減災を考える会」での取り組み

「防災・減災を考える会」で議論した施策のうち、実施しているものを紹介する。

・行徳水位観測所における警告回転灯

一定水位以上で点灯し、周辺住民に危険を知らせる。

・浸水表示板の紹介

千代川が氾濫した場合に想定される浸水位を示す、浸水表示板を紹介する。



浸水表示板
富桑・明德・大正
地区内に設置



警告回転灯



行徳水位観測所

○情報発信の仕組みの活用

既に整備されている情報発信の仕組みを運用する。

・鳥取市によるエフエム鳥取への割込放送

・鳥取県の「あんしんトリピーメール」